

年月日	いじめ等に関わる事象	保護者の対応	学校・学校法人の対応
1年生 4月	・被害生徒が県内私立中学校に入学。運動部に入部。		
1年生 夏頃	・加害生徒らは練習態度が悪く上級生から度々注意を受けていた。 ③加害生徒の1人と成績のことを話した際に、加害生徒は被害生徒から見下されていると感じ「死ね、きもい、うざい」等の暴言を発するようになった。以降、暴言は毎日のように続いた。		・顧問が加害生徒の練習態度の悪さを注意
1年生 12月	・運動部の練習メニューでランニングをしていた時、加害生徒らがふざけていたのでミーティングが行われた。顧問の「誰も注意しなかったのか」という問いかけに、被害生徒は、「私は注意した」と発言した。加害生徒らは、その発言に腹を立て、さらにいじめがひどくなっていった。		・顧問がミーティングで練習態度の悪さを注意
2年生 8月	・母親にいじめを訴える。	・担任に連絡	・学校がいじめを認知 ・被害生徒、加害生徒らから聞き取り ・被害生徒、加害生徒の保護者に報告 ・学年主任会議で管理職に報告

年月日	いじめ等に関わる事象	保護者の対応	学校・学校法人の対応
2年生 9月	・学校を欠席がちになり、医療機関の受診を始める。 ⑨部活動に来た被害生徒に対し、加害生徒が「来なかったらいいのに」と言っていたと他の生徒から聞いた。 ・被害生徒と母親がスクールカウンセラーと面談をしたが、一度で終了した。	・校長と面談	・加害生徒らに反省文を書かせるなどの指導開始 ・第1回いじめ問題対策委員会開催 ・校長が被害生徒母と面談 ・加害生徒らに無期限部活動停止処分 ・加害生徒らへ校長訓戒 ・県へ報告・相談 ・教育委員会へ相談
2年生 10月	・別室登校をしたが、一日で終わった。 ⑩加害生徒らが「被害生徒は、さぼっている」と言っているという他の生徒から聞いた。 ・10月中旬に欠席日数が、いじめ重大事態の目安とされている30日を超えた。 ・10月25日以降、完全に登校できなくなる。	・加害生徒らの退学を要求 ・部員への聞き取りを要望	・運動部に個別の聞き取り調査
2年生 11月	・フリースクールに通い始めた。	・保護者会開催を要望	・運動部の保護者会で説明 ・被害生徒の学習支援を開始 ・フリースクールと情報共有
2年生 2月	・体調を崩しフリースクールや塾に行けなくなった。	・第三者委員会設置要求	・第7回いじめ問題対策委員会で校長が、いじめ重大事態第三者委員会が設置されることを報告 ・県に、いじめ重大事態の発生報告 ・第三者委員会設置の準備を開始

※以下は、報告書において「いじめに該当する」行為であるが、時期は特定されていない。

- ①加害生徒らは被害生徒が拾ったボールを「汚い」などと言って触らなかった。
- ②練習の組み合わせが一緒になると文句を言われた。
- ④練習試合中「負けろ」と言われた。
- ⑦加害生徒らは、練習中などに、わざと被害生徒にボールを当てた。
- ⑧加害生徒らは被害生徒が拾ったボールを足で潰した。